

# 週刊新社会

7月14日



2020年号外  
野田市版

振替 00140-0-149727 1ヵ月 600円 1部 150円 42円  
発行所：新社会党 <http://www.sinsyakai.or.jp/>  
E-mail/honbu@sinsyakai.or.jp

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3F Tel. 03-6380-9960 Fax. 03-6380-9963

初日の議会開会が遅れたため、2面は本部のニュースです。

## 6月議会始まる 新議長に平井議員 関宿クリーンセンター解体へ

13日に始まったひと月遅れの6月議会は、常任委員会メンバー調整のため大幅に遅れて始まった。市長のあいさつなどの後、竹内美穂議長が辞職し議長選挙が行われ、順送りただかすで平井正一議長（清政会、4期）が与党候補者となり当選した。平井議員は所信表明を行ったが、もう一人の立候補者、星野幸治議員は行わなかった。野党の準備不足は否めない。

次に古橋敏夫副議長も辞職し、

選挙の結果吉岡美雪議員（公明党、3期）が当選した。対抗馬は出なかった。

今回は3年任期の農業委員の改選に伴う野田市農業委員の13人の任命議案（前回から公選制ではなく、市長が議会の同意を得て任命する形になった）が提出された。

また2014年3月31日で稼働停止した関宿クリーンセンターの解体・整地工事の請負契約が議案として出された。工期は22年3月11日。

### 提案された議案と決算認定

- 1 税賦課徴収条例の一部改正  
地方税法改正に連動
  - 2 一般職員の給与に関する条例の一部改正（水難事故等の際の潜水手当新設）
  - 3 一般会計補正予算第4号
  - 4 野田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準条例一部改正（児童支援員の資格要件を定める）
  - 5 道路線の認定（3件）
  - 6 道路線の廃止（2件）
  - 7 監査委員の選任
  - 8～20 農業委員の任命
  - 21 関宿クリーンセンター解体工事請負契約  
22年3月中に解体し更地化
  - 22 監査委員の選任
- 認 水道事業会計決算認定

## 企業誘致条例肩透かし 正式公約になし

鈴木有市長の選挙前の後援会パンフレット記載の「7月議会に企業誘致条例を提案し愛宕駅前にビジネスホテルを、野田市駅前に商業施設を、関宿地区など市街化調整区域に地区計画を活用して、製造工場を誘致します」は今議会に提案されない。

市役所内部では議論されておらず、せいぜいが9月議会に提案すると議会で表明した愛宕駅前のビジネスホテル誘致関連の議論でとどまっている模様だ。

市長陣営が選挙管理委員会に提出した選挙公報で検証したが、この件は記載していなかった。

しかし、正式な公約とは言えな

いが、市長陣営が配布して市民に提示した責任は重い。もちろん企業誘致条例は慎重な検討が必要だ。

## 知事会などが少人数学級を要望

新型コロナ対策で新たな業務が増え、夏休みも短い（野田市の小中学校の夏休みは8月3日から8月21日までだが、8月3日から7日の期間は、学年によって午前中の授業や自主登校による補習がある）ため、教員はますます過重負担となっている。

この事態の中、全国知事会と市長会、町村長会は連名で8日、財務省と自民党に対して「新しい時

代の学びの環境整備に向けた緊急提言」を提出した。

その中で画期的なのは、現在の40人学級では感染症予防のために児童・生徒間の十分な距離を確保することが困難であり、感染症の再拡大時においても教育活動の継続と学びを保障するため、少人数学級とそれに対応できる教員の確保が是非とも必要としたことである。


**こんにちは**  
**新社会党** です

  
 委員長 岡崎ひろみ

東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3階 TEL 03-6380-9960 FAX 03-6380-9963

週刊 **新社会**  
 2020年7月号  
 発行所：新社会党 発行：岡崎ひろみ  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3階  
 TEL 03-6380-9960 FAX 03-6380-9963  
 振替 00140-0-149727 12月600円 164円150円 141円  
<http://www.sinsyakai.or.jp> E-mail/honbu@sinsyakai.or.jp

# 「責任を痛感・遺憾」の繰り返し 口先男—安倍首相

**生きる**  
**安倍政治に**  
**終止符を！**


**新社会党**  
 6月発行の政策ポスター・26号

河合克行前法務大臣とその連れ合いの河合杏里参議院議員は、6月18日に買収の疑いで逮捕されました。河合克行衆議院議員を法務大臣に任命したのは安倍総理大臣。参議院広島選挙区で自民党公認候補者の10倍の1億5000万円の選挙資金を提供したのも安倍自民党総裁でした。兩名が逮捕されたことについて、安倍首相は「大変遺憾である」と述べた。

## 安倍首相が主導 選挙資金も大臣ポストも

2014年12月に発足した第二次安倍内閣から現在の第4次安倍内閣まで、安倍首相が指名した閣僚の辞任は10名です。10番目の閣僚の辞任は、河合克行前法務大臣です。この辞任を安倍首相は「責任を痛感」と述べるだけで、「どこ吹く風」のごとく、何ら責任をとりません。

こんな無責任な総理大臣は即刻やめさせましょう。

## 安倍内閣で辞任した10人の大臣

年月日	氏名・役職	辞任理由
2014年10月	小淵優子 経済産業大臣	観劇会等の収支未記載 政治資金収支報告書違反
2014年10月	松島みどり 法務大臣	選挙区有権者に名前入りの ウチワ配布し選挙法違反
2015年2月	西川公也 農林水産大臣	農水省の補助金団体の政治献 金を受け政治資金規正法違反
2017年1月	甘利明 経済再生大臣	都市再生機構の補償問題で建 設会社から金銭授受疑惑
2017年4月	今村雅弘 復興担当大臣	東日本大震災が「東北で良かった」と失言
2017年7月	稲田朋美 防衛大臣	陸上自衛隊による日報問題の 監督責任を取り辞任
2018年2月	江崎鉄磨 沖縄・北方大臣	健康問題で自ら辞任
2019年4月	桜田義孝 五輪担当大臣	自民党議員パーティで「復興 より議員が大事」と失言
2019年10月	菅原一秀 経済産業大臣	秘書が香典を持参。メロン配 布等公職選挙法違反
2019年10月	河合克之 法務大臣	広島選挙区で買収など公職選 挙法違反疑惑で辞任・逮捕

## 今まで10名の閣僚が辞任 居直り、君臨する首相

「責任を痛感」、「説明責任を果たしていく」と述べるのみです。この言葉、誰の心にも響かない空虚なものです。

安倍総理が就任して6年半がたちました。この間に10名の閣僚が辞任しました。また、「森友・加計・桜」の疑惑、検察庁人事介入など、安倍首相は居直りと謝罪をしますが、全く責任をとりません。小選挙区制度での自民党候補者公認権と各省幹部官僚の人事権を持つ安倍首相はまさに「唯我独尊」状態です。

安倍首相を退陣させましょう。市民と労働者、野党の共闘で安倍政治に終止符をうちましょう。